

食と農の祭典

笑顔あふれる農業まつり

JA延岡 発足30周年お祝いムード

JA延岡(山本照弘組合長)主催の「第13回農業まつり」は16、17日、延岡市東浜砂町の延岡総合文化センターを主会場に開かれ、晴天の下、多くの家族連れなどにぎわった。市農協と延岡農協の合併30周年を記念した今回は「JA延岡アグリフェスタ2019」農業と地域をつなぐ食と農の祭典「」がテーマ。16日には記念式典も行われ、お祝いムードに包まれた。

センター内では、管内の生産者が生産した農産物の品評会や人形供養祭、赤ちゃんハイハイ競争で盛況。駐車場では餅つき大会や農機員展示のほか、トラクターに乗っての記念撮影、草刈り機と自動車タイヤを使った大型三輪車の試乗に子どもたちのうれしそうな声が響いた。恒例の焼き肉フェスティバルでは、家族連れや友人グループなどが炭火で焼いた肉に舌鼓を打ち、あちらこちらで笑顔が見られた。

また、管内9支店が地産地消をテーマに「支店館」を出店。このうち、南方支店はお茶や加工品、恒豊支店は米、カレシ、北方支店は果物を使ったスイーツといった各地域の特色を全面に押し出した飲食物が人気を集めた。

会場から離れた方財町の畑では、500円で詰め放題のイモ掘り大会もあり、大きなイモを掘り起こした子どもたちの歓声がこだましていた。



農機具に試乗する子ども



「ごちごち」。赤ちゃんハイハイ競争



JAバンクのキャラクターよりぞう君を囲んで笑顔の子たち



イモ掘り大会を楽しむ子ども



大型の三輪車体験も人気を集めた